

熊 本 大 学 臨 床 検 査 専 門 研 修 プ ロ グ ラ ム

1. 臨床検査専門医の役割

臨床検査専門医は、医療機関で行われる臨床検査(血球数検査や血液生化学検査、微生物検査、生理機能検査など)の精度管理を行ったり、検査結果の専門的解釈を行ったりすることにより、院内の臨床検査の適正化と推進に努めることを主な日常業務としています。また、臨床検査領域の基礎・臨床研究や教育活動にも従事することによって、検査医学の発展に寄与することを主なミッションとしています。

2. 臨床検査専門研修プログラム

臨床検査専門研修プログラムは、ふたつのコース（プログラム制・カリキュラム制）で構成されており、研修医・医師は、それぞれの立場や希望に応じ、いずれかの制度に登録し研修を受けられる、比較的柔軟なプログラムとしています。以下に、プログラム制とカリキュラム制の特徴を記載します。

現在、当院ではカリキュラム制を採用しています。

1) プログラム制

初期研修終了後にそのまま本プログラムに加わり、ストレートに臨床検査専門医を目指すコースです。最短三年間の研修期間中に、臨床検査領域の研修を集中的に受講し、もっとも短い期間で臨床検査専門医試験の受験資格を得ることを目指す方を対象とします。臨床検査専門医資格の取得後は、大学病院をはじめとする基幹施設や医療機関において、専門医として検査業務・管理業務に従事することになります。

2) カリキュラム制(単位制)

すでに他の診療領域を専門とする医師や、なんらかの理由でプログラム制による研修を受けることが難しい医師が、それまでのキャリアを生かしつつ、臨床検査専門医を目指すために定められた研修コースです。他の領域の専門家として診療に従事している場合にも、あわせて臨床検査医学領域の専門研修を受け、必要な単位を修得し、プログラムに定められた活動実績を満たすことで、臨床検査専門医試験の受験資格を得ることを可能としています。

必要とされる研修期間は 3 年以上、10 年以下と定められています。臨床検査医学の研修施設でない医療機関に勤務する医師の場合には、例えば週に 1～2 日を臨床検査研修基幹施設あるいは連携施設で過ごし、その間に臨床検査医の指導を受け研修を受けることが想定されます。あるいは、フルタイムで業務に従事することが難しい医師が、同じく週に 1～2 回を基幹施設や連携施設での研修に充当することが考えられます。

カリキュラム制による研修制度の対象となる主な医師は、以下の通りです。

- 1) 義務年限を有する医科大学卒業生、地域医療従事者（地域枠医師等）
- 2) 出産、育児、介護、療養等のライフイベントにより、休職・離職を選択する者
- 3) 海外・国内留学する者
- 4) 他科基本領域の専門研修を修了してから臨床検査領域の専門研修を開始・再開する者
- 5) 臨床研究医コースの者
- 6) その他、学会と機構が定めた合理的な理由がある場合

カリキュラム制では、個々の事情に応じ、ある程度柔軟に研修プログラムを組むことが可能です。相談に応じますので、お問い合わせください。また、カリキュラム制の詳細については、以下の日本臨床検査医学会のウェブサイトをご参照ください。

<https://jslm.org/newsys/index.html>（カリキュラム制整備基準の項目を参照）

3. 臨床検査専門研修プログラムの主な研修内容

臨床検査医学が対象とする領域は広く、研修では、臨床検査医学総論、一般臨床検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学、臨床生理学の基本7科目について学ぶことになります。生理学検査であれば、超音波検査の施行方法を専門医や臨床検査技師から学び、自身で基本的な検査を実施できるようになることが目標となります。また、検査室で測定されたデータに解釈を加え、必要な報告書を作成することも研修の一部に含まれます。このため、検査の全工程を理解し、個々の検査の意義を把握することが必要となります。

それぞれの領域の基本的知識を習得すること、また、検査により得られた結果に対し専門的知識を生かして解釈し、各診療科の臨床医にフィードバックできる能力・臨床医からのコンサルテーションに応じられる能力を身に着けることを目指します。

研修プログラムに記載されている、研修の目標と使命は以下の通りです。

1. 専攻医が臨床検査に関する知識、技能を習得すること。
2. 専攻医が臨床検査を通して診療に貢献すること。
3. 専攻医が臨床検査の研究法を習得すること。
4. 専攻医が医師として適切な態度と高い倫理性を備えることにより、患者・メディカルスタッフに信頼され、プロフェッショナルとしての誇りを持つこと。
5. 臨床検査専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること。

こうした技術や知識を取得しながら、臨床検査専門医として活躍いただける人材に育ていただくことが、本研修プログラムの目標です。